

■福島県飯舘村の原発災害の現状

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

（1）今日の出来事

①災害対策委員会（議会）の開催

- ・原発災害に伴う「幼稚園、小中学校の今年度の方針」「農業の方針」を議題に、招集された。結果、詳細は（3）に記載。
- ・議会では、村民の生活の安定を図るため、雇用・労働対策に注力すべきとの意見も出されている。既に、緊急雇用対策等を実施予定。村役場での雇用創出も検討中。

②環境放射線測定の実施

- ・20 行政区全ての水田、集会所や公共施設、教育施設等の周辺、一部住宅地内、計 70 箇所で、土壌と大気の放射線調査を実施。県と村の共同実施体制。分析は外部検査機関に委託し、結果は 3 日後に出る予定。
 - －大気測定値が $20 \mu \text{Sv/h}$ 程度の測定ポイントもあり、区長会会長からは全地区への放射線測定器（最低 1 台）の配付を求める声がある。国等からの機材供与を求めたい。
- ・京都大学原子炉実験所・今中助教を団長とする、大気や土壌の放射線レベル測定の調査団が入村。明日（29 日）、村内で測定、サンプルの採取を行う。分析は京都大学で実施、結果データは役場、住民に提供される予定。

（2）放射性物質の状況

①大気【グラフは最終ページ】

役場周辺モニタリングポスト（地上 1m）： $8.49 \mu \text{Sv/h}$ （19:00 現在、晴れ）

②水道水

～19 時現在、新しい結果は未受信～

（3）村の生活

①飲料水

現在、飲料水は村民に対して、生活に必要な量を配付できている。現在 90t 程度がストックされている状況。本日、大久保・外内地区、上飯樋地区に対しては配送済み。

明日（29 日）は、建設行組合、建設業事業者、自衛隊の協力を得て、各地区に配送予定。

②賞味期限のある支援物資（生鮮野菜等）

本日、6 行政区に対して配送を終えた。明日は残る 14 地区に対して配送する予定。

③コミュニティバスの運行

コミュニティバス（診療所への通院バス）の朝の便は、今日から通常通りの運行となる。帰りの便については川俣町の処方箋薬局を廻るため、ダイヤに遅れが発生する見込み。

④農業

現在実施中の測定の分析結果をもって、4月4日の特別委員会（議会）で再び検討する予定。

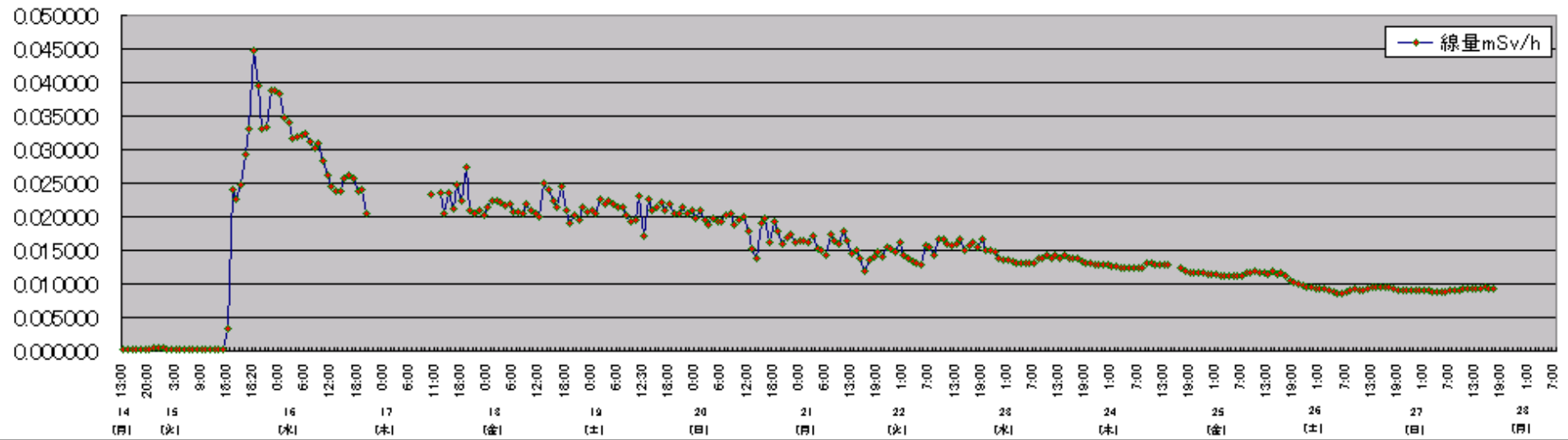
⑤学校の新学期対応

- ・3月25日現在、村民の児童生徒は村内に2割、村外に8割がいる状況。
- ・新年度、村立の幼稚園、小・中学校については川俣町内に設置する方針（スクールバスで送迎）。
 - －川俣中学校に11教室確保
 - －川俣幼稚園に2教室、職員室を確保
 - －その他 1) 集団自主避難所のある鹿沼市内での修学、2) 鹿沼市以外の自主避難先での修学という選択肢の用意も検討。特に自主避難村民への周知については、マスコミ各社のご協力をいただきたい。
- ・保育所については現在、調整中。
- ・相馬農業高校飯館分校の新学期の予定は未定。本校で検討段階。

(4) 集団自主避難（鹿沼市総合体育館―フォレストアリーナ―避難所）の状況

3月20日の集団自主避難完了日がピーク（438人）であったが、漸減傾向にあり本日17:00現在390人となっている。うち小・中・高校生が73人となっている。

ガンマ線量の時間計測【mSv/h】



ガンマ線量の時間計測(3/15 15:00~)【mSv/h】

